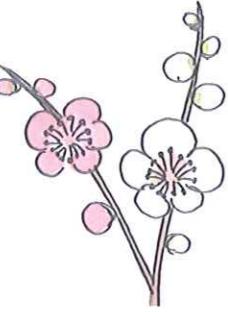


Life ここ掃除でできますか?

タンクの手洗い水受け部分、ホコリ汚れが固まっていますか?重曹を振りかけキッチン用二層スポンジのハードな面でこすったあと、水で温らせたトイレットペーパーをのせておきます。10分程したらそのペーパーでふき取り、トイレの水を流して水洗いし、タオルでふきあげるときれいになります。

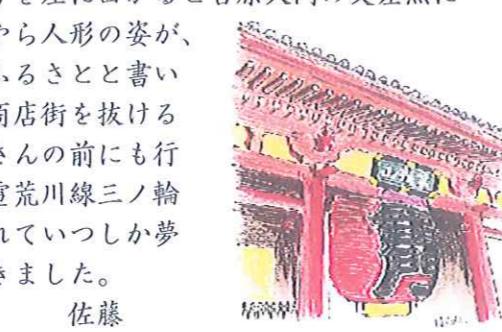
トイレブラシ・ブラシ受けも週に1回はお掃除!
ブラシはトイレ使用前のきれいな水で洗い、良く水を切ったあと消毒用アルコールスプレー。ブラシ受けも水切り。拭取り後にスプレーをしておきましょう。



身辺雑記.....

浅草には毎年3、4回行きます。今年も新年早々に「久しぶりに神谷バーに行きたいな」と話してて、じゃあ行くかで11時半には現地に到着。食券売り場には20人ほどが並んでいます座席を確保したあと後ろにつき、サンブルウインドウを眺め、ナボリタン、グラタン、レンコンのはさみ揚げ、焼き鳥、電気プラン、生ビール、ウーロン茶と、結局いつもと同じようなものを注文。おでんが無くなつて残念、ここの料理はしつこなくて年配者には食べやすいです。それにしても最近は若い女性の姿が目立つようになりましたね。食後の散歩に、定番の雷門から仲見世通り(大混雑)を通り、きびだんごを頬張りながら浅草寺でお参り。裏口を抜けて雷5656会館から北に裏通りを歩くと、しっとりとした風情の街並みです。鮓屋、ふぐの店、検番、懐石、呑み屋、などが点々とあり夜はちょっと大人の雰囲気なんでしょうか。さらに真直ぐ歩き、突き当たり明治通りを左に曲がると吉原大門の交差点に出ます。左に曲がるとかつての吉原遊郭だそうです。歩道に何やら人形の姿が、右側がいろいろ会という商店街で、よく見るとあしたのジョーのふるさと書いてあります。先ほどの人形はジョーのフィギュアでした。この商店街を抜けると山谷、泪橋のほうに出るみたい。途中、おお村という蕎麦屋さんの前にも行列が、皆さんよく並びますね。さらにぶらぶら歩いて行くと都電荒川線三ノ輪橋駅に出ました。帰りは都電に揺られ、ぽかぽか陽気にさそわれていつか夢の中、あわてて大塚駅で降り山手線に乗り換えて帰宅の途につきました。

去年の暮れから、山手線の内側を散歩し出しました。

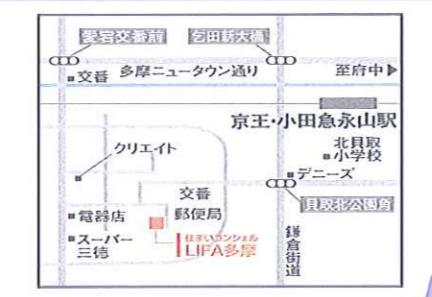


佐藤



**住まいコンシェル
LIFA ライファ多摩**

(株)インテリアヒロセ 二級建築士事務所 多摩市貝取1-47-6
フリーダイヤル 0120-650-405 <http://www.lifatama.com>



クロスワードパズルの答え ★立春

ニュース・レター

VOL
47

LIXIL
リフォーム
住まいコンシェル
LIFA

ライファ多摩

www.lifatama.com

2014年1月吉日発行

リフォーム専門店ライファが、暮らしのちょっとした情報を届けします。

今月の社長ひとこと



代表取締役 広瀬大三

また新たな年がスタートしたかと思えば、あっという間に1月も終わってしまいます。寒い日が続いているがいかがお過ごしでしょうか。

さて昨年暮れ、12月18日の朝日新聞朝刊の生活面にて当社のリフォームが紹介されました。ペットと快適に暮らすというコンセプトだったのですが、実は先日も友人宅で飼っている小型犬(そのわんちゃんはトイプードル)が、フローリングの床をつるつると滑りながら走ることによる腰痛(悪化するとヘルニアに...)で通院している話を聞きました。痛いと口に出せないペットが不憫なことはもちろん、なんせ動物は病院にかかるとなると費用の面でも大変な負担なんですね...どこも同じ悩みを抱えているようです。

先程の新聞記事のリフォームは、床に工夫したことで驚くほど腰痛の症状が消えたという事例です。「家族みんなが満足できる住まいを叶える」ということが今年も私のモットーです。ペットも大切な家族ですからね!

ご興味のある方はぜひ朝日新聞バックナンバー(当社ホームページ上でご紹介させていただいております)を、ご覧になってみてください。

話は変わりますが先日、東京国際フォーラムで開催された「LIXPO(リクスピ)」なるものへ行ってまいりました。CMでもお馴染みになつてきました「LIXIL(リクシル)」の新商品が一堂に集まついました。キッチンやユニットバスなどをはじめ、住設機器等の新しい便利な機能やデザインの進化はすばらしいものがありました。どんどん取り入れて紹介していくかと思つております。

なにはともあれ、立春まであと少し...早く暖かくなつほしいものです。最後になりましたが、今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

いぬかーむ

豆知識

リノベーションとリフォームはどう違う?

Q1.リノベーションとリフォームってどう違うの?

一般的にはつきりとした定義があるわけではなく、日本ではどちらも中古物件の改装を指す。一般的には、古い、汚い、不便など、不満点を解消するため新築に近い状態に戻すべく、化粧直しをする改装がリフォーム。リノベーションは中古物件の持つ既存の状態(躯体の素材感やレトロな雰囲気など)を生かしつつ、ライフスタイルに合わせて間取りや素材までを変える「プラスαの改装」を表現する言葉として世の中に広がっている。将来への備えというよりも、今の自分の生活を楽しむという発想がリノベーション。中古を好みの住まいに変えることで、自分らしい暮らしを低予算で実現する。そんな考え方方が、30代を中心とした世代に受け入れられ始めている

Q2.中古物件のメリットは?

新築に比べ、求めやすい価格なのが第1のメリット。間取りや内装を自由に変えられることも大きな利点だ。新築マンションの場合、ドアの色や床の仕上げを変えるなど、一部のカスタマイズしかできない。しかし中古なら、壁やキッチン、ユニットバスなどをすべて取り扱い、スケルトン状態にすることも可能。コンクリートの箱のような状態から、自由に間取りや内装をつくっていくことができる。物件(ハコ)を安く買って、自分らしい内装(ナカミ)に予算をかけられるのが、中古を活用するリノベーションの意義なのだ。マンション居住者の様子を事前に確認できたり、立地のいい物件が多いのも、新築に比べて有利なポイントだ